

## WHAT TO DO IF YOU MISS THE RAPTURE

携挙の後に残された時、どうするべきか？

Pastor Robert Breaker

(The Cloud Church)

.....  
はい、The Cloud Church へようこそ。ロバート・ブレイカーです。英語とスペイン語でメッセージをお届けしています。ウェブサイトは、<http://www.thecloudchurch.org> です。

今日のタイトルは、「もし携挙を逃したら、どうするか？」今日のメッセージはほんとうのクリスチャンではなく、迷い出た人に向けてです。現在は終末に着々と近づいていて、多くの人が「携挙が近い！」「携挙は間もなくだ！」と言っています。ボクには分かりません。分かっているのは、携挙は起こるとのこと。聖書の中で、それは預言され、起こると言われているのだから、近いうちには起こるでしょう。そこで、「取り残された人」のためにメッセージを残すことにしました。先ほども言いましたが、この動画は「迷い出た人」用です。もしあなたが救われていないのなら、この動画はあなたのためのもの。まずは手短かに聖書についてお話しします。聖書は読めば簡単に理解できるものです。旧約聖書は「モーセの律法」から律法と呼ばれ、今はもう、旧約聖書、律法の下にはいません。律法に従ったのはずっとずっと昔の旧約聖書の話。そしてイエス・キリストの死。聖書には、イエスは我々の罪のために死んだと書かれています。イエスは、流した血によって、全世界の罪の対価を支払いました。聖書へブル人への手紙には

22 **…また、血を注ぎだすことがなければ、罪の赦しはないのです。**

(へブル人への手紙 9:22b)

とあります。そして、イエスが血を注ぎだされた。そして、主が死んだときに新約聖書が始まりました。つまり、イエスの死によって、新約聖書が始まったのです。そして、新約聖書の中には「教会時代」があり、イエスが死んだ後、恵みによって救われる時です。恵みの時代とも呼ばれます。そして、教会時代の終わりが、携挙。今日はこの「携挙」についてお話しします。

もし、携挙が起きて、あなたが取り残されたらどうなるか？携挙の後、聖書にはハルマゲドンについても書いています。今日お話しするのは、この「患難時代」と呼ばれる時期、聖書では「ヤコブの苦難の時」とも呼ばれています。ヤコブとは、ユダヤ人の事です。これは7年間で、多くの場合、これを3年半と3年半に分けます。今日は聖書の中を調べて行き、もし、あなたが救われていないのなら、このメッセージはあなたへのもの。もし救われたいのなら、この患難時代を生きる必要はなく、携挙で救われることができます。と

もかく、携挙後、この動画がまだどこかに存在していることを想定して、取り残された場合、どうやって救われるかをお話したいと思います。イエスの元に来るためには、救われるためには何をすべきか、聖書にはどうかいてあるのか。言っておきますが、この時期（患難時代）に救われるのは、それはそれは大変な事。だから救われて、携挙で挙げられることが、とても大事なのです。

さて、まずはじめに、「携挙」とは何か？多くの人が携挙について語っていて、多くの人が携挙について聞いたことがあるでしょう。携挙とは？聖書には、第1テサロニケ人への手紙4章にこうあります。

- 16 **主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラツパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それがキリストにある死者が、まず初めによみがえり、**
- 17 **次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。**
- 18 **こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。**

（第一テサロニケ 4:16~18）

つまり、携挙の時、イエス・キリストが天からやって来る。来て、主の教会、主の花嫁を集める。そして、体がすでに墓の中にある人々は、出てくる。魂はすでに天にいますから、たましいが降りてきて体に戻る。後ほど読みますが、聖書には「栄光の体を受ける」とあります。ということで、これは主が教会を取り去る時、これが携挙です。「救われたクリスチャン」とは何か？自称「クリスチャン」が、全てクリスチャンではありません。残念なことに、多くの「自称クリスチャン」が実際には救われていない。だから、本当の意味で救われているクリスチャンのみが携挙の時に居なくなります。第一コリント 15章を読んでみましょう。この中で、携挙について書かれている箇所をいくつか読みます。

- 51 **聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たち（クリスチャン）はみな、眠ってしまうのではなく変えられるのです。**
- 52 **終わりのラツパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラツパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。**
- 53 **朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。**
- 54 **しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた」としてされる、みことばが実現します。**

（第一コリント 15:51~54）

これらが、聖書の中で携挙について書かれているふたつの箇所です。第一テサロニケ 4章

と、第一コリントの15章。この中で、教会の携挙について書かれています。もし、携挙で行かなかった場合、あなたは後に取り残されます。「レフトビハインド」という本がありましたが、もし、取り残されたら、この患難時代を生きることになります。聖書によると、この時期に反キリストが登場します。恐ろしい時代です。獣のしるし、神の御怒りが地を襲うなど、生きているのがとてもとても困難な時になります。だから、まだ救われていない人は、今日が決断の時ですよ！誰もこんな恐ろしい時に遭遇したくないですからね。ということで、どうすれば今日救われるのか、手短にお話しします。

今は、携挙の直前だと思います。聖書には、携挙の前に背教が起こると書いてあります。背教とは、道から逸れることです。神の道、聖書の教えから逸れる事です。これは、今の教会で起こっている事、多くのクリスチャンたちが真実から逸れて行っています。実際、多くの人が携挙についての教えを変えています。彼らは「携挙は患難の前に起きず、患難のただ中で起こる」と言います。「御怒り前携挙」神の御怒りはここ（7年の真ん中〜）で起こりますから。しかし、聖書には「患難期は7年」だとはっきりと書いています。後でそれについても触れますが。この考え方の間違いは、もし、中間で携挙が起こるとすると、イエスの再臨まで3年半。そして、もし携挙が最初に起こったとして、3年半後に、彼らが受け入れる者は？反キリストです。だから、こういった人たちには気をつけなければいけません。背教によって、教えを曲げて、真理から逸れる。「PreWrath— Rapture?」というタイトルの動画の中で、これについて詳しく話しています。

では、どうして聖書によるこの「ヤコブの苦難の時」が7年間でないといけないのか？前半は「患難」、後半は「大患難」もしくは「神の御怒りの時」。それでは、福音について。今日、救われるには？その後、携挙を逃したらどうするべきかをお話しします。この教会時代に救われるにはどうすれば良いのか？携挙直前の救い。「福音」について、少し見てみましょう。福音については、第一コリント15:1~4に書かれています。福音には5つの要点があります。では見てみましょう。「今日、救われるために」どうすれば今日、救われるのか？携挙の後は、救いも少し変わってきますからね。携挙前のような形では救われません。だから、携挙が起こる前に今、救われていることが大事なのです。でももし、携挙が起こった後にこの動画を見ている人に、どうすれば救われるのかもお話しします。まずは、携挙の前に救われる方法。第一コリント15:1~4を見てください。

- 1 兄弟たち。私は今、あなたがたに**福音**を知らせましょう。これは、私があなたがたに**宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音**です。
  - 2 また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の**宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われる**のです。
-

- 3 **私あなたがたに最もたいせつなこととして伝えたいのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、**  
4 **また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、…**  
(第一コリント 15:1~4)

つまり福音とは、

- ① キリストが死んだ
- ② 私たちの罪のために
- ③ 葬られ、
- ④ よみがえり、

次、見てください。2回繰り返されています。

- ⑤ 「聖書に従って」

ということで、我々の罪のために、キリストが死なれた。図にしてみましよう。イエス・キリストが死に、葬られ、そして聖書に従って三日目によみがえられた。これは、イエス・キリストの死、埋葬・よみがえりです。では、なぜ死んだのか？ここが重要なところで、「我々の罪のため」なのです。イエス・キリストが現れた時、バプテスマのヨハネが言いました。

「見よ。世の罪を取り除く神の小羊。」(ヨハネ 1:29、36)

つまり、イエス・キリストは、全世界の罪のために、血の贖いとなりました。主は全人類一人一人の罪のために、十字架にかかって死にました。救いとは、ただ信じる事。福音を信頼すること。エペソ人への手紙 2:8~9 にこうあります。

- 8 **あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。**  
9 **行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。**

(エペソ 2:8~9)

だから、この時期は行いによるものではありません。我々は、行いによって救われるのではなく、ただ、イエス・キリストが成された事を信じることで救われます。このように、イエス・キリストの福音とは、主が我々のために成された事。我々を救うために、死にました。というわけで、もしあなたが救われていないなら、まず、気づかなければいけません。救われたいなら、どうすればクリスチャンになれるか、どうすれば天国へ行けるのか。どうすれば携挙で行けるのか？すべき事は、イエス・キリストが成されたことを信頼するだけ。あなたは「受け入れます」と言いましたか？あなたの罪が許されるために、あなたを正しい者とするために、主が成されたことを信じ、信頼しますか？我々は、イエス・キリストが成されたことを信じることによって、正しい者「義」と認められるのです。ただ、イエス・キリストだけを信頼する。自分の行いではなく、主があなたのためにしてくださったことが全てです。エペソ人への手紙 1:13 にはこうあります。

---

13 **この方であってあなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞き、  
またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。**

(エペソ 1:13)

そして、聖霊があなたの中に宿り、それによって天国へと行ける。それによって、携挙が起きた時には、天に挙げられ、雲の中でイエスと会えます。これが今日、救われる方法です。信仰によって救われるのです。主が成されたこと、主が血を流されたことを信じて、救われる。赦されるためには、血が流されなければならないからです。エペソ 1:7には、

7 **この方であって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。**

(エペソ 1:7)

全ては、主が流された血によって、罪が赦される。ということで、救いと赦しは、この福音を信じることでしか得られません。

さて次に、携挙が既に起こった後、あなたがこの動画を観ているとして、もう手遅れ、この福音を信じても救われることはありません。携挙の後、様々な事が起こり、神が違った形で人々に働きかけます。その時には、救いも違った形となります。もし、あなたが救われていないのなら、以下のことを覚えておいてください。これから話すことは全てあなたに宛てたものです。携挙を逃した後、患難の中でどのようにして救われるのか。携挙を逃して、まず知っておくべき事は、その時期、反キリストが登場します。そしてまず、イエスが誰であるかを知ってください。恐らくあなたは、イエスが誰かを知らないのでしょうか。聖書には、イエスは神だと書いてあります。それから、イエスはユダヤ人のメシアです。これを悟らなければいけません。主が、旧約聖書の預言を成就させたイエス・キリストは、神であり、メシアである。聖書はお持ちですか？持っていることを願います。第一テモテ 3:16 をご覧ください。

16 **確かに偉大なのはこの敬虔の奥義です。**

**「キリストは肉において現れ、  
霊において義と宣言され、  
御使いたちに見られ、  
諸国民の間に宣べ伝えられ、  
世界中で信じられ、  
栄光のうちに上げられた。」**

(第一テモテ 3:16)

つまり、イエス・キリストは神で、キリストが人として現れた。神は、あなたのために死ぬほどにあなたを愛された。主は、あなたの罪のために、血を流した。でも、あなたは主

を拒絶した。あなたは「どうでも良い事だ」と思った。あなたはイエスを信じず、福音を信頼しなかった。だから、あなたは取り残された。でも今、あなたは、少なくとも主が神であることを認めるべきで、携挙で世界中の多くの人がいなくなった今、イエス・キリストが神であることは否定できないでしょう。携挙の後、多くの人「宇宙人が連れ去ったんだ」と言うでしょう。そんな事、信じちゃいけません。聖書を信じてください。聖書の中で預言され、そしてその通りの事が起こったのです。ご覧の通り、もう福音には手遅れ、黙示録 14 章に、この時期、別の福音が宣べ伝えられると書かれています。その時には、御使いによって違う福音が宣べ伝えられるのです。その福音には、行いが伴います。この時期になると、救われるには何かをしなければならなくなります。これら（書記注：恵みの時代、教会時代）は全て過ぎ去って、教会はいなくなったからです。だからもし、携挙の後にあなたがこれを観ているとしたら、まずイエス・キリストが神であることを認めてください。あなたは「イエス・キリストが神である」と言えますか？信じますか？携挙の後、救われるにはそれがまず第一歩です。使徒の働き 4:12 にはこうあります。

**12 この方（イエス・キリスト）以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名（イエス・キリスト）のほかには、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。**

（使徒の働き 4:12）

ということで、この名によって以外、救われる道はないことを知ってください。この方以外に、人の姿で来られた神イエス・キリスト以外にないのです。まず、イエスの元に来る。そして、救われるためにすることは？患難時代に救われようと決めたなら、イエス・キリストに従う決心をしなければなりません。ボクがするのは、聖書に書かれている事を伝えるだけです。それが唯一、ボクの知る事だからです。携挙が起これば、ボクも天に挙げられて、ここにはいません。でも、ここに残されるあなたのことを、心配しているんです。マタイ 16:24~26 で、イエスはこう言われました。

**24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでも、わたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。**

**25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。**

**26 人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。…」**

（マタイ 16:24~26）

そこで、まず一番にすべきこと、それはイエスに従う決心。自分を捨てる事。言い換えれば、自分の欲求、人間的な欲望を全て手放すこと。「もういい！イエス以外は、他に何も

ほしくない！」その理由はまた後ほどお話ししますが、携挙の後、全世界があなたに何かをさせようとする。何かをさせようと圧力をかけてくる。そして、イエスに従うには、あなたは全世界に逆らわなければなりません。なぜかと言うと、この反キリストは、人々が体に、ある「しるし」を受けるといって、それも後ほどお話ししますが、まずは、あなたが自分を捨てて、言わなければなりません。

「世に従うより、魂の救いを選ぶ！」と。自分を捨て、自分の魂の救いを求める。携挙の後、多くの人が自分の欲望に生きるようになります。「トゥモローランド」のようにパーティに明け暮れて、何でも自分のやりたいようになります。呪い、タバコ、酒、ドラッグ、悪魔のような生活をし、しるしを受け、やりたい放題。なぜなら、誰も救いについて考えていないから。けれども、自分の魂が大事だと思うなら、炎の燃え盛る地獄に行きたくないと思うなら、自分で決心しなければなりません。

「他の何よりも、イエスが必要だ」と。

次に黙示録の 14:12 を見てみましょう。もし、聖書を持っているのなら、これから読んでください。マタイの福音書を読んでください。ヨハネの黙示録を読んでください。これから何が起るのか分かりますから。そして、この時期にどうすれば救われるのかが書いてあります。

## 12 神の戒めを守り、イエスに対する信仰を持ち続ける聖徒たちの忍耐はここにある。」

(黙示録 14:12)

つまり、イエスに従い、戒めを守らないといけません。そして、信仰を持ち続けなければなりません。言い換えれば、イエスが神であり、イエスがこの時代から、あなたを救えると信頼しなければならぬのです。次に、マタイ 10:22 を見てみましょう。患難時代にこれを守るのは、とても大変ですよ。だから携挙の前に救われていることがとても大事なのです。しかし、携挙が起きた今となっては手遅れです。

## 22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

(マタイ 10:22)

このように、救われるためには、患難の最後まで耐え忍ばなければなりません。そして、最後まで耐え忍んでも、嫌われる。なぜかと言うと、この時には反キリストが出て来て、イエスに敵対し、教えるから。

「イエスを信じる者は皆、バカで能なしだ」

それだけにとどまらず、あなたを憎み、首を斬ると書いてあります。だから、あなたはイエスを否定せず、自分を捨てると、堅く決意しなければなりません。他の何よりも、魂が大事だ、と。この大変な時期、あらゆるところから圧力がかかり、あなたにイエスを否定

させようとしています。だから、堅い決意が必要となるのです。マルコ 13:12 を見てみましょう。

12 **また兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子は両親に逆らって立ち、彼らを死に至らせます。**

(マルコ 13:12)

あなたの家族が、あなたがイエスを信じていることを国に通報し、国があなたの首を斬りに来ます。最後まで耐え忍ばなければなりません。

13 **また、わたしの名のために、あなたがたはみなの人に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。**

(マルコ 13:13)

このように、あなたの魂の救いは、最後までイエスが救い主であることを否定せず、耐え抜くかどうかにかかっています。

ボクが今、話をしているこの時代と大きく異なります。今は、救われれば永遠に救われる。なぜなら、聖霊にしろしを押しされているから、失うことがないのです。しかし、こちら（携挙を逃した後）は最後まで耐え忍ばなければ、魂の救いを失ってしまいます。

次に、マタイ 24 章を見てみましょう。この患難時代に起こる事の詳細が書かれています。もし、あなたが患難時代に取り残されたなら、これを読まなければなりません。

4 **そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。**

(マタイ 24:4)

この時期、あなたはどんなことをしてでも、誰にも騙されないように気をつけなければなりません。言っておきますが、これはとてもはっきりと書かれています。彼らは、あなたにイエスを否定し、イエスは神ではないと言わせるために、ありとあらゆる事をします。先ほども言ったように、宇宙人が人々を連れ去ったとか、携挙なんてものはないとか、神なんかいないとか、惑わされないように気をつけなさいといけないのです。

5 **わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。**

6 **また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たわけではありません。**

7 **民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。**

8 **しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。**

---

- 9 そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。
- 10 また、そのときは、人々がだげいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
- 11 また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。
- 12 不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。
- 13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

(マタイ 24:4~13)

これら全てを、耐え忍ばなければなりません。もしくは、イエスのために殺されるか。これも詳しくは後ほど。これらのことが全て起こります。それでも救われようと思うなら、何があってもイエスに従うと、堅い決断を要します。それから、聖書を読んで理解し、騙されないように。特に「イエスが来る」と言う声に惑わされないように。なぜなら、他の者がやって来るからです。イエスは、最後の最後に戻ってくることを覚えておいてください。次、21節に行きます。

- 21 そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。
- 22 もし、その日数が少なくされなかったら、ひとりとして救われる人はいないでしょう。しかし、選ばれた者のために、その日数は少なくされます。
- 23 そのとき、『そら、キリストがここにいる』とか、『そこにいる』とか言う者があっても、信じてはいけません。
- 24 にせキリスト、にせ預言者たちが現れて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしや不思議なことをして見せます。

(マタイ 24:21~24)

彼らは、人々を騙して、他のイエスを信じさせようとします。第二テサロニケにさらに詳しく書かれています。同様に黙示録にも。彼らは全く同じことを教えると書かれています。では、彼らは何を伝え、教えるのか？

「反キリストに従い、彼が真のキリストだと信じろ」

だから、あなたが聖書を信じていなければ、騙されて反キリストを信じることになります。その結果、あなたの魂は失われ、地獄に行くことになります。第二テサロニケ 2:4

- 4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

(第二テサロニケ 2:4)

聖書には、患難時代前半に、反キリストを「滅びの子」と呼び、後半では「不法の子」と呼んでいます。そして、患難時代の真ただ中で、彼は御座に座り、自分が神だと言います。ですから、先ほども言ったように、決断を迫られるのです。イエス・キリストを神の

御子と信じるか？それとも騙されて、反キリストを信じるか？それが誰であれ、オバマでも、誰であれ、彼らが神なのか？実際問題、彼らは神ではありません。イエスが神です。だから、ここは小文字の god にしておきます。ともかく、彼らは自分が神だと主張する。次に、8 節。

- 8 **その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。**
- 9 **不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、**

(第二テサロニケ 2:8~9)

覚えていてください。反キリストが出ると、彼はいろいろなしるしを行う。今までに見たこともないような、魔法使いに見えることでしょう。

「彼が本物のイエスに違いない」と簡単に騙されて、信じてしまうのです。でもそれは間違いです。

- 10 **また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。**
- 11 **それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。**
- 12 **それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。**

(第二テサロニケ 2:10~12)

この時になると、世界中が神に敵対し、神は言うのです。

「分かった。嘘を信じたいなら、信じなさい。」

そして、多くの人々が騙され嘘を信じる。そして、どうなるか。彼らは裁かれます。イエス・キリストを信じず、他の神々を信じるからです。彼らは、イエスに従わないようにと言われ、最後まで耐え忍ばなかった。自ら、騙される方に流れてしまったのです。

マタイ 10:32 を見てみましょう。もしあなたが、携挙を逃して患難時代にいるなら、イエスを否定しないようにしなければなりません。

- 32 **ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。**
- 33 **しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います。**

(マタイ 10:32~33)

だから、あなたも口で告白しなければいけません。

「イエスが真の救い主です」と。そして、これを宣言すれば、自動的に死刑宣告となります。

す。あなたが真実に立ち上がり、騙されないという事は、全世界を敵に回すことになるのです。そして、先ほども言った通り、全世界があなたを憎み、殺そうとする。彼らはやって来て、あなたを捕えて、尋ねます。

「お前はイエス・キリストが神だと言ったのか？」

そこであなたが、「はい、言いました」と言うなら、

「よし、殺せ。」「殺すんだ！」「生かしておくわけにはいかない。真の神は、反キリストだ。」となると書かれています。そこで、あなたはイエス・キリストを否定せず、最後まで耐え忍んで生きることを選ばなければなりません。

もう一つ、決意しなければならないことがあります。絶対に、獣のしるしを受けてはなりません。たぶん、あなたはクリスチャンではないでしょう。でも、獣のしるしについては聞いたことがあるでしょう？いろいろなところで語られていますからね。獣のしるしとは何か？これはチップだという人もいます。手か、額に埋め込まれます。何でそんなことを言うのか？それは聖書に書いてあるからです。怖いところは、それがもうすでに存在していることです。すでにチップを埋め込んでいる人がいることです。それについて、聖書には何と書いてあるのでしょうか？しるしを受けるべきなのか？聖書には、受けてはならないと書いてあります。救われたいのなら、受けてはなりません。黙示録 14:9~11 をご覧ください。

- 9 **また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。「もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手かに刻印を受けるなら、**
- 10 **そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。」**
- 11 **そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。**

(黙示録 14:9~11)

もし、このしるしを受けるのなら、行先は地獄です。ということで、もし携拳を逃したら、これら全てをしなければなりません。その上でさらに、国に対して

「私はそのしるしは受けない！」

そうなるとうどうなるか分かりますか？

「よし分かった。」「それなら、死ぬんだ！」「殺してやろう。」聖書には、彼らはあなたの首を斬ると書いてあります。黙示録 16:2 をご覧ください。しるしは受けない方が良い。しるしを受けると、まず、あなたの魂は救いを失い、地獄へ行きます。さらに、そのしるしを受けることで、病気になると書かれています。

---

- 2 **そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。**

(黙示録 16:2)

聖書には、この獣のしるしを受けると、「**ひどい悪性のはれもの**」ができると書いてあります。腫れものがほしい人、いますか？あなたはどうですか？手に出来た腫れものを想像してください。額のど真ん中に、ひどい大きな悪性の腫れもの。嫌ですよ。しかし、これが聖書に書いてあることです。そのしるしを受けると、あなたは地獄に墜ちる。そして、それを受けると、神はあなたの体にひどい悪性の腫れものを与える。黙示録 13:16~18 を見てみましょう。これが聖書に書かれていることで、このために悪魔はあなたにしるしを受けさせたいのです。15 節から読みましょう。

- 15 **それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がもの言うことさえもできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。**

(黙示録 13:15)

これが反キリストです。その像を拝まなくてはならないのです。それをしなければ、殺されます。でも、救われたいのなら、偶像は拝めません。

- 16 **また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手か額かに、刻印を受けさせた。**
- 17 **また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。**
- 18 **ここに知恵がある。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は六百六十六である。**

(黙示録 13:16~18)

666——ここで、あなたがこのしるしを受けなければ、ほとんどの場合、あなたは餓死します。最近では多くの人が食料をため込んでいますが、もし、あなたもそうなら、その食糧によって生きられるかもしれません。それによって患難時代を生き抜くことが出来るかも知れない。しかしあなたが逃げ、どこかに隠れたとしても、反キリストを否定し、そのしるしを受けてはなりません。でも、このしるしを受けなければ、売ることも買うことも出来ず、食べることができません。食べ物が買えませんからね。究極の選択です。イエスに従おうとする者には、史上かつてなかったほどに困難な時代となるでしょう。だから、今のうちに救われるべきなのです。

そろそろ終盤に近づいていますが、最後は、あなたは殺されるのです。「殺されることを選ばなければならない」と書いた方が良いでしょう。決断を迫られるのです。

「イエスを選ぶ、何よりも、魂の救いを選ぶんだ。」

---

「イエスのために死ぬんだ！」

救われるためには、これが条件となります。黙示録 20 章。聖書を持っていないかもしれませんが、私が読んでいくので聞いてください。黙示録 20:4~5 です。

- 4 **また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その顔や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。**

ここでいったん止まりましょう。4 節。何と書いてあるか、見てみましょう。ヨハネは、天国で人々を見たのです。獣のしるしを受けることを拒否したために、首を斬られた人たち。あなたはそこまで出来る位にイエスを愛していますか？イエスの愛のため、こんなことが言えますか？

「魂が大事だ。地獄へは行きたくない。」

「だから、イエスを信頼して戒めを守り、出来る限りの事をして、最後まで耐え抜く。」

「誰にも騙されないためなら、どんなことでもする。」

「クリスチャンだと言う者を殺すと言われても、イエスを告白するんだ！」

「そして、獣のしるしは受けない。」

「獣のしるしを拒むことで、首を斬られ殺されることは分かっている。」

これであなたも救われます。患難時代には、これが唯一救われる道です。

- 5 **そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。**

(黙示録 20:4~5)

黙示録 12:11 を見てください。

- 11 **兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。**

(黙示録 12:11)

これは患難時代の聖徒を指しています。患難時代に救われた人たち。この人たちにとっては、自分の命よりも、イエスの方が大切だった。だから、イエスのために殺されることを選択したのです。あなたにもそれが出来ますか？黙示録 13:7~10 には、こうあります。

- 7 **彼（悪魔）はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。**  
8 **地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされ**

ていない者はみな、彼を拝むようになる。

9 耳のある者は聞きなさい。

10 とりこになるべき者は、とりこにされて行く。剣で殺す者は、自分も剣で殺されなければならない。ここに聖徒の忍耐と信仰がある。

(黙示録 13:7~10)

ということで、聖徒になるには忍耐が必要です。もし救われたいなら、イエスのために殺される覚悟が必要です。終わりまでとは、きっちり患難時代の終わりまで。反キリストを拒み、獣のしるしを拒否する。それを終わりまで耐え抜くのです。命の終わりまでも、断固として言うのです。

「私は、彼を神とは呼ばない！」

「獣のしるしは、受けない！」

「彼を拝みなどしない！」

ダニエル書のシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを思い出します。ネブカデネザル王が像を建てて、それを拝めと命令しました。王国中の人は皆、従いましたが、この三人だけは躓かなかったのです。そこで、王は命じて、彼らを燃える炉の中に放り込んだ。感謝なことは、神が彼らを守られました(ダニエル書3章)。でも、患難時代には、神があなたを守るという保証はありません。あなたは死ぬ覚悟を持たなければなりません。彼らも死ぬ覚悟をしたのです。そして、神が奇跡的に燃え盛る炎から彼らを守られました。でも、ここでは燃え盛る火から守られる保証はありません。もし、獣のしるしを受けるなら、あなたは地獄行き。

さて、マタイ7:13で締めたいと思います。あなたが携挙の前に、この動画を観ることを祈ります。でももし、携挙が既に起こっているのなら、救われるために通るべき道はかなり過酷です。これだけ伝えておきます。患難の前半3年半はまだ大丈夫。しかし、聖書によると、中間地点で反キリストは殺され、そして彼の致命的な傷が治って、よみがえるとあります。彼は、死からよみがえることで、キリストを真似ようとします。彼は、人間の姿をしたサタンとしてよみがえると聖書には書いてあります。そして、その時から彼は人々に獣のしるしを強制し始めるのです。その時に彼は神殿に入り、自分が神だと言い始めます。そして、その時に偉大なる神の御怒りが地に注がれるのです(黙示録13章)。恐らく、あなたは思うでしょう。

「なんとか半分耐え忍んだぞ。」

「まだ、獣のしるしも受けていないし、全て順調だ」

しかし、どうして最後まで生き延びられると思いますか？砂漠のど真ん中にいるのなら、しるしを受けなくても良いかもしれません。しかし、神の御怒りが地に降り注がれると、木の三分の一が焼けると聖書に書いてあります。海の魚の三分の一が死ぬと、聖書にはあります。神の御怒りが地に降り注がれるのは、後半の三年半。大患難です。自分は燃え盛

る火で死なないと言えますか？あなたの隠れ家で死なないと、どうして言えるのですか？死がそこら中にある、人々は死を願い、死にたいと祈るが、5か月の間死ぬことも出来ないと聖書にはあります。ゾンビの宣告のように聞こえるでしょうが、この時期は生きて行くには苛酷すぎます。その前に、ここで救われてはどうですか？まだ携挙が起こってなければ、間に合います。しかし、もし逃したなら…。ボクはそこにはいたくありません。絶対、君の立場にはなりたくありません。患難時代に救われるのはごく稀だと、聖書に書いてありますから。マタイ 7:13~14 見てください。

13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。

14 いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

(マタイ 7:13~14)

患難時代に救いの道を見出す者は、ほんのわずかなのです。これは「ヤコブの苦難の時」と呼ばれていて、神が再びユダヤ人に向き合われるのです。黙示録 11:1~2には、患難時代にユダヤ人が再び神殿で礼拝すると書かれていて、そして、ある時、神がユダヤ人をかくまい、彼らは逃げます。反キリストが出て来て、彼らは逃げ隠れ、そこで彼らは守られます。でもこれは全てユダヤ人です。だから、もしあなたがユダヤ人でないのなら、最後まで生きている保証はありません。ほとんどの場合、死んでしまうでしょう。神の御怒りが注がれて、火や硫黄、雹が降り、宇宙体系の影響、それらによって死んでしまう可能性もあります。仮にそれで死ななかったとしても、世界統一政府が家までやって来て、チップを入れるようにと命令する。もしそれを拒めば、ギロチンで首を斬られるのです。この時期、生きるには苛酷すぎます。誰に向けて話しているのか分かりませんが、もし携挙が起こる前にこれを観ているのなら、まだ救いに間に合います。しかしもし、携挙に取り残されたなら、あなたの未来はとても悲しいものとなる。自分の魂を愛していますか？何としても、地獄を避けたいと思いますか？イエスのために、首を差し出しますか？彼らが来た時、言えますか？

「さあ、首を斬ってくれ。それでもイエスを否定しない。」

それが患難時代の、唯一の救いの道です。

ご視聴いただき、ありがとうございます。 <http://www.thecloudchurch.org>

で他のメッセージもご視聴いただけます。もし、携挙が既に起こって、取り残されたなら、「Pre-Wrath Rapture?」というタイトルのメッセージで、患難時代についてお話ししています。それから、聖書「ヘブル人への手紙」、「ヤコブの手紙」を読んでください。この中に、患難時代について、終わりの時に何が起こるのか、たくさん書かれています。ご視聴ありがとうございました。もし、患難の後にこれをご覧になっているなら、どうぞ、お気をつけください。これらのことを行う決心をし、イエス・キリストに人生を捧げてください

い。イエスはあなたのために命を捧げられました。主はまさに、死ぬために生まれて来られました。あなたのために死ぬほど、あなたを愛しておられます。もし、携拳を逃したのなら、質問は一つ。

「あなたは、主のために死ぬほど、イエスを愛していますか？」

救われるためには、それが唯一の道です。

主の祝福がありますように。

---

このメッセージは The Cloud Church.org の Pastor Robert Breaker が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。他のメッセージを聴きたい方は、「The Cloud Church」(英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

*「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7*

メッセージ by Pastor Robert Breaker/The Cloud Church : <http://www.thecloudchurch.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO